

3、山小舎の灯 (昭和22年)

作詩：米山正夫 作曲：米山正夫

- 3.1、たそがれの灯は ほのかに点りて
懐かしき山小舎は ふもとの小径よ
想い出の窓に寄り 君をしのべば
風は過ぎし日の 歌をばささやくよ
(間奏)
- 3.2、暮れ行くは白馬か 穂高はあかねよ
樺の木のほの白き 影も薄れ行く
寂しさに君呼べど わが声空しく
はるか谷間より こだまは帰り来る
(間奏)
- 3.3、山小舎の灯は 今宵も点りて
一人聞くせせらぎも 静かにふけゆく
憧れは若き日の 夢をのせて
夕べ星のごと み空に群れとぶよ

4、琵琶湖就航の歌

作詞、作曲：小口太郎

- 4.1、われは湖(うみ)の子 さすらいの
旅にしあれば しみじみと
のぼる狭霧(さぎり)や さざなみの
志賀の都よ いざさらば
(間奏)
- 4.2、松は緑に 砂白き
雄松(おまつ)が里の 乙女子は
赤い椿の 森蔭に
はかない恋に 泣くとかや
(間奏)
- 4.3、波のまにまに 漂(ただよ)えば
赤い泊火 なつかしみ
行方定めぬ 浪枕
今日は今津か 長浜か

5、みかんの花咲く丘

作曲：加藤 省吾 作曲：海沼 実

- 5.1、みかんの花が 咲いている
思い出の道 丘の道
はるかに見える 青い海
お船がとなく 霞んでる
- 5.2、黒い煙を はきながら
お船はどこへ 行くのでしょうか
波に揺られて 島のかげ
汽笛がぼうと 鳴りました
(間奏)
- 5.3、何時か来た丘 母さんと
一緒に眺めた あの島よ
今日もひとりで 見ていると
やさしい母さん 思われる

6、故郷

作詞：高野 辰之 作曲：岡野 貞一

- 6.1、兔追いし かの山 小鮎釣りし かの川
夢は今も めぐりて 忘れがたき 故郷
- 6.2、如何に在ます 父母 つつがなしや 友がき
雨に風に つけても 思い出ずる 故郷
- 6.3、志を はたして いつの日にか 帰らん
山は青き 故郷 水は清き 故郷
水は清き 故郷

7、花は咲く

作詞：岩井俊二 作曲：菅野よう子

- 真っ白な 雪道に 春風薫る
私は懐かしい あの街を思い出す
叶えたい夢もあった
変わりたい自分もいた
いまはただなつかしい
あの人を思い出す
- 誰かの歌が聞こえる 誰かを励ましてる
誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側に
- 花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう
(間奏)
- 夜空の向こうの 朝の気配に
私は懐かしい あの日々を思い出す
傷ついて 傷つけて
報われず 泣いたりして
今はただ 愛(いと)おしい
あの人を思い出す
- 誰かの想いが見える 誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える 悲しみの向こう側に
- 花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう
- 花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く いつか恋する君のために
東北地方の1日でも早い復興をお祈りして
おります。

本日はありがとうございます。アンサンブルFOSを今後とも温かく見守り下さい。